

I 議 案 書

議案第1号 平成30年度事業報告について

以下のとおり、平成30年度事業報告（案）について、決議を求める。

平成30年度事業報告（案）

平成30年度、（一社）日本廃棄物コンサルタント協会（以下、「協会」という。）の役員、職員及び各部会委員等は、定款及び諸規則等に従い適正に協会の運営管理を行うとともに、平成30年度事業計画に基づき、第四期将来ビジョンの推進、調査研究、人材育成、技術の普及啓発、対外活動及び国際協力等に係る事業を実施した。

平成30年度における一連の事業の中で、特筆すべき事項として次の二点を挙げる事ができる。

第一に、平成30年7月豪雨に伴う災害廃棄物処理支援のために、D.Waste-Netメンバーとして、一か月余りにわたり岡山県、広島県、愛媛県及び福岡県の四県の被災地に10正会員会社の25名の職員を派遣したことである。この災害廃棄物処理支援について、環境大臣より「平成30年度大規模自然災害等の被災地域支援活動に対する災害対応支援環境大臣表彰」が協会に対して授与され、協会の社会的貢献が評価された。

第二に、『第四期将来ビジョン「持続可能社会へのデザイナーをめざして 2016-2025」』に基づく活動を一步進展させ、あわせて、正会員が今後の協会の在り方の方向性を共有するために、同ビジョンに基づき定款を改正すること、すなわち、協会の名称、目的、事業の規定を改正することについて、正会員を対象にして2回にわたりアンケート調査を行い、そのアンケート結果を正会員に報告したことである。

以下、平成30年度事業の実施状況について報告する。

1. 協会の運営管理

(1) 会員の動向

正会員 (株)日本環境工学設計事務所 退会届提出(平成31年3月25日付け)。
名誉会員 山村勝美氏が平成30年7月27日逝去され、名誉会員は1名減。
平成31年3月31日現在、名誉会員は、杉戸大作氏、青山俊介氏、三戸完五氏、辻 喜礦氏、井出 宏氏及び浦邊真郎氏の6名である。

(2) 会 議

① 総 会

第7回 定時総会

日 時 平成30年5月30日 15:00~16:00

場 所 東京グランドホテル4階「芙蓉の間」

議 案 議案第1号 平成29年度事業報告について

議案第2号 平成29年度決算及び監査報告について

議案第3号 役員を選任について

報 告 報告事項第1号 平成30年度事業計画について

報告事項第2号 平成30年度予算について

会長表彰 感謝状 1名、 功績賞 1グループ4名

② 監事監査

平成30年4月17日 11:00~13:00 協会会議室

監査結果については、第7回定時総会において監事が監査報告書として報告した。

③ 理事会

a. 第13回理事会 平成30年4月25日 16:00~17:00 協会会議室

【審議事項】

1 総会について

1) 第7回定時総会議案及び資料

2) 公益目的支出計画実施報告書及び完了届について

3) 社員総会招集の決議について

2 定時総会及び講演会・懇親会の進行等について

3 平成29年度表彰審査結果について

4 表彰に関する内規の改正について

5 その他

b. 臨時理事会 平成30年5月30日 16:05~16:20

東京グランドホテル4階「芙蓉の間」

【審議事項】

1 専務理事の選定について

2 業務執行理事の業務分担について

3 委員会委員の指名について

c. 定款 37 条に基づく書面又は電磁的記録による理事会 平成 30 年 7 月

【審議事項】

前専務理事に対する退職慰労金の支給について

d. 第 14 回理事会 平成 31 年 2 月 13 日 16:00～17:00 協会会議室

【審議事項】

- 1 平成 31 年度における会費区分について
- 2 平成 31 年度事業計画（案）及び平成 31 年度予算（案）について
- 3 （一社）日本廃棄物コンサルタント協会の定款変更について
- 4 第 5 期役員候補者名簿について
- 5 法人化 25 周年記念行事について
- 6 年間スケジュールについて
- 7 その他

④ 常任理事会

a. 第 1 回 平成 30 年 7 月 4 日 15:00～17:00 協会会議室

b. 第 2 回 平成 30 年 10 月 3 日 14:00～15:00

エッサム神田 1 号館 901 室(プレゼンルーム)

c. 第 3 回 平成 30 年 11 月 2 日 15:00～15:30

TKP 新橋カンファレンスセンター

カンファレンスルーム 3C

d. 第 4 回 平成 30 年 12 月 17 日 16:00～17:15 協会会議室

⑤ 部会・委員会

a. 総務部会 5 回開催 平成 30 年 4 月 20 日、6 月 19 日、9 月 18 日、11 月 29 日、
平成 31 年 2 月 6 日

b. 対外活動部会 4 回開催 平成 30 年 4 月 12 日、6 月 20 日、9 月 12 日、12 月 5 日

c. 技術部会 4 回開催 平成 30 年 4 月 18 日、6 月 21 日、9 月 5 日、12 月 7 日

d. 国際部会 2 回開催 平成 30 年 8 月 30 日、平成 31 年 2 月 19 日

e. 中期行動計画 2020 推進委員会

3 回開催 平成 30 年 4 月 25 日、10 月 3 日、平成 31 年 2 月 13 日

f. 中期行動計画 2020 推進ワーキング

2 回開催 平成 30 年 6 月 3 日、7 月 20 日

g. 低炭素・自然共生分科会（準備会） 1 回開催 平成 30 年 9 月 3 日

h. 女性技術者懇談会 3 回開催 平成 30 年 6 月 7 日、7 月 13 日、9 月 18 日

i. ダイバーシティ推進委員会 1 回開催 平成 30 年 9 月 18 日

j. 表彰審査会 1 回開催 平成 30 年 4 月 25 日

k. 役員候補者選考委員会 2 回開催 平成 30 年 10 月 3 日、
平成 30 年 10 月 22 日（メール審議）

(3) 公益法人改革への対応

平成30年5月31日付けで内閣府公益認定等委員会に「公益目的支出計画実施完了確認請求書」を提出し、平成30年8月24日付けで同委員会より「公益目的支出計画の実施完了の確認書」を受領した。これにより、公益目的支出計画の実施が平成30年3月31日をもって完了したことが確定した。

(4) 人 事

① 人事異動

平成30年4月1日	職員採用	参与	大島高志
平成30年5月30日	退任	理事	木下正明、佐々木五郎、加藤秀平
	就任	理事	由田秀人、大熊洋二、大島高志

② 第5期正会員役員候補者の選出

平成30年11月12日付けで、第8回定時総会において選任される第5期正会員役員候補者の選出について公示し、平成31年1月11日～1月25日の間、立候補者の受付を行った。立候補者は定数と同じ10名であったため、正会員による投票を実施しなかった。

(5) 表 彰

① 会長表彰

第7回定時総会（平成30年5月30日）において、以下の方々に会長から賞状と記念品を贈呈した。

感謝状	前理事 佐々木五郎
功績賞	平成29年7月九州北部豪雨に係る廃コン協 D. Waste-Net チームメンバー 4名 上田淳也（パシフィックコンサルタンツ（株）） 佐々木未穂（東和テクノロジー（株）） 花嶋孝生（応用地質（株）） 籠谷純一（（株）エイト日本技術開発）

② 環境大臣表彰

協会が推薦した豊口敏之 理事（（株）環境管理センター）が、「平成30年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰（廃棄物・浄化槽研究開発功労者）」を受賞した。表彰式は、平成30年10月18日に福島県福島市で開催された第62回生活と環境全国大会で執り行われた。後日、豊口敏之 理事には会長より協会副賞を授与した。

また、平成30年7月豪雨に伴う災害廃棄物処理支援について、「平成30年度大規模自然災害等の被災地域支援活動に対する災害対応支援環境大臣表彰」が協会に授与された。表彰式は、平成30年12月19日に環境省において開催され、日高 彰会長が出席した。

2. 第4期将来ビジョンの推進

中期行動計画 2020 推進委員会を3回開催し、「年次行動計画 2018」を策定するとともに、「年次行動計画 2018」の進捗状況を点検した。また、中期行動計画 2020 推進ワーキングを2回開催し、低炭素・自然共生分科会（準備会）の開催について議論した。

平成30年9月3日に低炭素・自然共生分科会（準備会）を開催し、正会員会社の低炭素・自然共生関連技術者12名に参加頂き、意見交換を行った。

また、11月には、正会員を対象に「協会定款改訂に関するアンケート」を実施し、そのアンケート結果を会報第81号（平成31年1月発行）に掲載し、正会員に対して第8回定時総会で予定している定款改訂の方向性について示した。

さらに、第1回目のアンケートの結果を踏まえ中期行動計画推進委員会で再検討した定款改訂案を、平成31年1月に第2回目の「協会定款改訂に関するアンケート」として正会員に送付し、意見を求めた。この2回目のアンケート結果については、平成31年2月22日に電子メールにより正会員に報告した。

3. 調査研究の推進

(1) 廃棄物・資源循環マネジメント技術に関する調査研究

- ① 人口減少社会における廃棄物処理施設のあり方専門委員会(平成27年度～30年度)
(主査:中石一弘 (株)エックス都市研究所)

委員会活動はほぼ終了し、引き続き報告書のとりまとめ作業を行っている。

- ② 災害廃棄物処理に関する廃棄物コンサルタントのあり方専門委員会
(平成28年度～30年度) (主査: 眞鍋和俊 応用地質(株))

委員会活動はほぼ終了し、引き続き報告書の取りまとめ作業を行っている。

- ③ 最終処分場標準発注仕様書等作成専門委員会(平成29年度～31年度)
(主査:宇佐見貞彦(八千代エンジニアリング(株)))

NPO 最終処分場技術システム研究協会との共同研究で、3つのワーキンググループを編成して、仕様書や維持管理マニュアルについて検討している。

主要な検討項目は次のとおりである。

- ・最終処分場建設工事標準発注仕様書(土木建築編)
- ・最終処分場建設工事標準発注仕様書(水処理編)
- ・最終処分場整備・運営事業標準要求水準書
- ・最終処分場標準維持管理マニュアル

- ④ 廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料(案)改訂専門委員会
(平成30年度～31年度) (主査:宇佐見貞彦(八千代エンジニアリング(株)))

「廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料(案)」は平成23年3月に初版を公表し、平成24年9月には改訂版を公表した。近年、廃棄物処理施設の建設・維持管理に、PFI又はDBOの事業形態で発注されることが多くなっており、このような事業形態における廃棄物コンサルタント業務については、現に公表されている「廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料(案)」は必ずしも実態を

反映していないと指摘されている。このため、近年の施設整備に係る発注実態を勘案して、「廃棄物コンサルタント業務の標準的内容と積算資料（案）」の再改定を行うこととした。本専門委員会の第1回会合は、平成31年1月21日に開催され、平成31年度に本格的な委員会活動を行うことになる。

(2) 廃棄物分野における情報技術利活用専門委員会（平成30年度～31年度）

（主査：入佐孝一（八千代エンジニアリング(株)）

近年のIoTやAI等の情報関連技術の目覚ましい技術革新を踏まえ、情報関連技術の廃棄物処理施設の建設・運転・維持管理におけるハード面での利活用の動向とともにコンサルタント業務としての発注支援における情報関連技術の利活用の可能性や費用対効果等を検討する。第1回会合は、平成31年2月26日に開催され、平成31年度に本格的な委員会活動を行うことになる。

(3) 廃棄物コンサルタント業の発展・改善に関する調査研究

① 廃棄物コンサルタント業務の品質向上に関する検討委員会その2（平成28年度～）

（主査：西山勝栄 技術部会委員（(株)建設技術研究所）

「廃棄物コンサルタント業務の品質向上に関する検討委員会その2」は、最終処分場に関するコンサルタント業務について基本構想、基本計画・基本設計業務、詳細設計の各業務段階において留意すべき品質確認項目の抽出・整理を行い、品質チェックポイントシートを作成することを目指して検討を進めている。平成29年度には、「廃棄物コンサルタントの品質向上に向けて（最終処分場計画・設計業務編）」を報告書としてとりまとめた。現在、引き続き、「最終処分場の発注・契約事務支援（調達支援）業務編（設計・施工一括、総合評価落札方式）」について検討を進めている。

(4) 環境省受託事業

① 平成30年度「平成30年7月豪雨」災害廃棄物処理支援業務(その2)

事業期間 契約日（平成30年7月9日）～平成30年9月28日

契約金額 1,188万円（消費税込み）

業務概要 平成30年7月豪雨に係る災害廃棄物処理支援のために、約1か月間、岡山県、広島県、愛媛県及び福岡県の4県に正会員会社の職員25名を派遣した。

② 平成30年度放射性物質により汚染された廃棄物の実態調査及び最終処分場の管理に関する技術的検討業務

事業期間 契約日（平成30年9月14日）～平成31年3月29日

契約金額 1,890万円（消費税込み）

業務概要 放射性物質により汚染された特定一般廃棄物及び特定産業廃棄物の最終処分場について、その実態を把握し技術的課題や改善点等を抽出し、長期的な管理手法を検討する。

なお、協会は、この業務を円滑に実施するために、業務に参加する正会員会社の職員で構成する「平成30年度環境省受注特定一産廃最終処分場調査検討委員会」（主査：古田秀雄（(株)建設技術研究所）を設置した。

4. 人材育成、技術の普及啓発の推進

(1) 技術士試験対策講習会

開催日 平成30年4月18日 14:00～18:00

場 所 協会会議室

受講者 8名

プログラム

挨拶 副会長（技術部会長）宇佐見貞彦（八千代エンジニアリング㈱）

講義 ～総論～

技術部会委員 鉤 佐登史（中日本建設コンサルタント㈱）

講義 ～試験対策のポイント～

技術部会委員 前田伊端実（応用地質㈱）

合格者体験談① 平成29年度技術士試験合格者 太田垣貴啓（応用地質㈱）

合格者体験談② 平成29年度技術士試験合格者 山田若菜（㈱建設技術研究所）

(2) 技術者研修講座

開催日 平成30年8月28日～30日

場 所 協会会議室

受講者 10正会員会社から15名

プログラム （次表のとおり）

日程	時間	講義内容	講師	備考
8月28日	10:00～10:15	開講	宇佐見貞彦	技術部会長
	10:15～11:15	コンサルタント業務について	宇佐見貞彦	八千代エンジニアリング㈱
	11:20～12:50	廃棄物管理計画 (昼食・休憩)	鈴木 修	㈱エックス都市研究所
	12:50～13:50	廃棄物処理の現状と法制度	小林陽一	㈱エックス都市研究所
	13:50～15:20	廃棄物の測定・分析	長谷川 亮	㈱環境管理センター
	15:25～16:55	会長講話	日高 彰	協会会長
	17:00～17:30	【意見交換会】	受講生と講師	
8月29日	9:15～10:45	中間処理	入佐孝一	八千代エンジニアリング㈱
	10:50～12:20	最終処分	古田秀雄	㈱建設技術研究所
	12:20～13:20	(昼食・休憩)		
	13:20～17:00	施設見学会（大田清掃工場）	講習会担当者 と講師	

8 月 30 日	9:45~11:15	収集運搬	中山伸吾	(株)エイト日本技術開発
	11:20~12:35	生活排水管理	森 智志	(株)N J S
	12:35~13:25	(昼食・休憩)		
	13:25~14:40	災害廃棄物処理対応の在り方	眞鍋和俊	応用地質(株)
	14:45~15:45	海外コンサルタント業務について	副田俊吾	日本工営(株)
	15:50~16:50	研修のまとめ	森 智志	(株)N J S
	16:50~17:00	閉 講 (修了証授与)	岩下信一	技術部会副部長

(3) 施設見学会

開催日 平成30年7月26日 8:45~15:00
 参加者 21名 (技術部会委員及び事務局を含む)
 視察先 スーパーエコタウン事業リサイクル施設
 高俊興業株式会社 建設混合廃棄物リサイクル施設
 株式会社リーテム 廃情報機器類リサイクル施設
 東京都廃棄物埋立処分場 (中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場)

(4) 技術セミナー・技術発表会

開催日 平成30年11月27日 14:00~17:35
 場 所 エッサム神田1号館 201会議室
 参加者 51名 (技術部会委員及び事務局を含む)
 プログラム

第1部 技術セミナー

～マイクロプラスチックによる海洋汚染の現状と今後の課題について～
 基調講演

「マイクロプラスチックによる海洋汚染の現状と今後の課題について」

東京農工大学 農学部環境資源化学科 高田秀重 教授

事例紹介

「プラスチックの持続可能な利用について」

東京都環境局資源循環推進部 古澤康夫 資源循環専門課長

第2部 技術発表会

論文1 「バイオマス利活用に向けたし尿処理施設の展開について」

宮内大樹 (株)エイト日本技術開発

論文2 「管理型処分場の堅牢性確保のために～民間最終処分場における種々の方策と課題について～」

尾崎太郎 (株)エックス都市研究所

論文3 「捕獲鳥獣の適正かつ効率的な処理システムの構築に向けた実態調査」

鈴木隆央 (株)環境管理センター

論文4 「最終処分場の安心な設計に向けた検討」

呉曾テイ (パシフィックコンサルタンツ(株))

論文5 「近年のクローズド型最終処分場等における設計・施工一括発注について」

朝日大輔 (八千代エンジニアリング(株))

【専門委員会報告】

岩下信一 技術部会副部長（応用地質㈱）が次の3つの専門委員会の活動状況を報告した。

- ・人口減少社会における廃棄物処理施設のあり方検討専門委員会
- ・災害廃棄物処理に関する廃棄物コンサルタントのあり方専門委員会
- ・最終処分場標準仕様書等作成専門委員会

【優秀発表表彰】 優秀賞 鈴木隆央 （㈱環境管理センター）

（5） 地方自治体職員のための廃棄物処理施設整備セミナー

（環境省東北地方環境事務所との共催）

開催日 平成30年9月24日 13:30～16:30

場 所 TKP 仙台南町通カンファレンスセンター ホール8A（仙台市）

参加者 35市町村・事務組会 54名

プログラム

情報提供 「廃棄物処理施設整備に係る交付金の状況及び関連動向について」

環境省東北地方環境事務所廃棄物リサイクル対策課

講 義 「廃棄物処理施設整備事業（最終処分場）計画の策定における留意点」

副会長（技術部会長） 宇佐見貞彦（八千代エンジニアリング㈱）

講 義 「廃棄物処理施設整備事業（し尿処理施設）計画の策定における留意点」

技術部会委員 森 智志（㈱N J S）

5. 対外活動の推進

（1）「平成30年度版 廃棄物コンサルタントの活用について」の作成

平成30年8月に、旧版のパンフレットを改訂し、「平成30年度版 廃棄物コンサルタントの活用について」を作成した（2500部）。本パンフレットについては、全国の地方自治体や環境省への郵送配布のほか、全国都市清掃会議の行事等で配布している。

パンフレットの概要は次のとおりである。

- ・廃棄物コンサルタントの技術力による選定
- ・発注方式の選定手順（案）
- ・品質の確保と向上
- ・最近の日本廃棄物コンサルタント協会の活動

（2）環境省との政策パートナーとして役割強化

① 環境省意見交換会

平成30年11月2日に、環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課の名倉良雄課長をはじめ同課の職員等と協会の役員・対外活動部会委員が出席し、意見交換会を実施した。

協会からは、二つの要望事項、「入札・契約の手引きの改訂について」及び「計画支援事業の標準仕様・積算基準の策定について」を説明した。また、意見交換では、平成30年7月豪雨の災害廃棄物処理支援の経験を踏まえ、D.Waste-Net活動の今後の在り方等について議論した。

② D.Waste- Net

環境省受託事業『平成30年度「平成30年7月豪雨」災害廃棄物処理支援業務(その2)』として、平成30年7月豪雨に係る災害廃棄物処理のために、次表のとおり岡山県、広島県、愛媛県及び福岡県に正会員会社の職員25名を派遣した。

この災害廃棄物処理支援について、平成30年12月19日、協会は「平成30年度大規模自然災害等の被災地域支援活動に対する災害対応支援環境大臣表彰」を受賞した。

なお、平成30年12月20日に開催された「D.Waste-Net 情報交換会」及び平成31年1月22日に開催された「災害廃棄物対策に関するシンポジウム」に、役員が参加した。

(県別に派遣日付順に記載)

派遣先の県名	氏名	所属	派遣期間
岡山県	入佐孝一	八千代エンジニアリング(株)	7/13～7/17
	籠谷純一	(株)エイト日本技術開発	7/13～7/16
	山口侑也	パシフィックコンサルタンツ(株)	7/18～7/20, 7/21～7/24
	後藤久美子	八千代エンジニアリング(株)	7/25～7/29
	渡邊仁史	(株)N J S	7/27～7/30
	土谷賢司	中外テクノス(株)	8/3～8/5, 8/8～8/10
	伊藤 明	(株)建設技術研究所	8/4～8/7
	木村浩和	(株)ウエスコ	8/6～8/7
	若松恭一	(株)ウエスコ	8/8～8/10
広島県	北村亮輔	(株)建設技術研究所	7/12～7/18
	伊藤 聡	(株)エイト日本技術開発	7/13～7/16
	花嶋孝生	応用地質(株)	7/17～7/23
	川添 優	パシフィックコンサルタンツ(株)	7/19～7/25
	伊達 誠	(株)エイト日本技術開発	7/25～7/31
	勝見 慧	(株)エイト日本技術開発	7/25～7/31
	森 智志	(株)N J S	7/27～7/30
	大田実果	(株)東和テクノロジー	8/2, 8/5～8/7, 8/9
	佐々木未穂	(株)東和テクノロジー	8/1～8/7
	佐伯 敬	(株)東和テクノロジー	8/1, 8/3, 8/5, 8/10～8/14
	木村浩人	(株)東和テクノロジー	8/8～8/14
愛媛県	千葉俊彦	(株)エックス都市研究所	7/13～7/16
	池田勇太	(株)建設技術研究所	7/18～7/24
	五十嵐知宏	(株)建設技術研究所	7/25～7/31
	宇佐見貞彦	八千代エンジニアリング(株)	8/5～8/10
福岡県	松本良二	八千代エンジニアリング(株)	7/12～7/16

(3) 地方自治体アドバイザーとしての展開

① 全国都市清掃会議総会・評議員会での広報

全国都市清掃会議の平成30年度総会・評議員会（平成30年5月24日 佐賀市 及び平成30年10月25日 岡山市）で展示コーナーを設置し、ポスター、「平成30年度版廃棄物コンサルタントの活用について」等の資料を展示・配布した。

② 全国都市清掃研究・事例発表会での展示及び相談コーナーの設置

平成31年1月23日～25日に宮崎市で開催された全国都市清掃研究・事例発表会において、上記と同様の展示を行うとともに、相談コーナーを設置した。

③ 自治体職員のための廃棄物処理施設整備セミナーにおける相談コーナーの設置

平成30年9月28日に東北地方環境事務所との共催で開催した「自治体職員のための廃棄物処理施設整備セミナー」で相談コーナーを設置し、事前に申し込みのあった3地方自治体・事務組合からの相談に対応した。

(4) 関係機関、関係団体との連携

① 日本廃棄物団体連合会の行事への参加

日本廃棄物団体連合会の総会、幹事会、講演会及び賀詞交歓会等に、協会役員等が参加した。

② 関係機関等への協力及び委員派遣

○環境省災害廃棄物対策推進検討会 地域間協調ワーキンググループ

委員 宇佐見貞彦 副会長・技術部会長（八千代エンジニアリング(株)）

○日本廃棄物団体連合会

監事 加藤秀平 前専務理事、 大島高志 専務理事

○(一社)廃棄物資源循環学会

評議員 日高 彰 会長（パシフィックコンサルタンツ(株)）

理事 森 孝信 副会長（(株)エイト日本技術開発）

理事 豊口敏之 常任理事（(株)環境管理センター）

○(一社)廃棄物処理施設技術管理協会技術管理者等 CPDS 運営委員会

委員 宇佐見貞彦 副会長（八千代エンジニアリング (株)）

○(一社)廃棄物処理施設技術管理協会環境技術会誌編集委員会

委員 森 智志 技術部会委員（(株)N J S）

○（公財）産業廃棄物処理事業振興財団

評議員 加藤秀平 前専務理事

原状回復特定事業に関する調査会 委員 大島高志 専務理事

○環境省 平成30年度廃棄物の広域移動状況調査及び廃棄物等循環利用量実態調査業務に係る「循環利用量調査改善検討会作業部会」（事務局 (株)数理計画）

委員 新井秀澄（(株)エックス都市研究所）

○(一社)建設コンサルタント協会が実施しているR C C M資格試験の採点委員として、正会員会社の2名の職員を（一社）建設コンサルタント協会に推薦した。

(5) 大学との連携と人材確保

東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻 吉岡敏明教授に協力を頂き、平成31年2月9日に、第11回廃棄物資源循環学会東北支部・第6回日本水環境学会東北支部合同研究発表会の特別企画「環境関連コンサル業の役割と意義」として廃棄物コンサルタントの業務紹介と協会活動について説明した。

開催日 平成31年2月9日 12:50～13:40

場 所 東北工業大学 八木山キャンパス

参加者 38名（学生以外の参加者を含む。学生は約20名）

プログラム

「環境関連コンサルタントの役割(廃棄物・建設コンサルタントの業務紹介を中心に)」

対外活動部会長 小棚木 修 (株日水コン)

「(一社)日本廃棄物コンサルタント協会の取り組み」

対外活動部会副部会長 豊口敏之 (株環境管理センター)

6. 国際協力の推進

(1) 海外プロジェクトセミナー（廃コン協/OECC第8回合同セミナー）

「プラスチックをめぐる動きと廃棄物分野の国際協力」をテーマとして、(一社)海外環境協力センター(OECC)との共催で、第8回合同セミナーを平成31年2月19日に開催した。

開催日 平成31年2月19日 13:30～17:00

場 所 エッサム神田ホール1号館 多目的ホール

参加者 62名（講演者3名を含む）

プログラム

講 演 「廃棄物分野の国際協力の現状と課題」

東洋大学 北脇秀敏 副学長

講 演 「プラスチックをめぐる国内外の状況」

環境省環境再生・資源循環局 小岩真之 制度企画室長

講 演 「雑品スクラップと廃プラスチックからみた国際資源循環」

国立研究開発法人 国立環境研究所

資源循環・廃棄物研究センター 寺園 淳 副センター長

事例紹介 「(株)カネカ 生分解性ポリマーのレジ袋普及促進事業（JICA 民間技術普及促進事業）」 事務局

パネルディスカッション「プラスチックをめぐる動きと廃棄物分野の国際協力」

モデレーター

東洋大学 北脇秀敏 副学長

パネリスト 環境省環境再生・資源循環局

小岩真之 制度企画室長

パネリスト 国立研究開発法人 国立環境研究所

資源循環・廃棄物研究センター

寺園 淳 副センター長

(2) JICA 集団研修への講師派遣

(公財) ひょうご環境創造協会が国際協力機構 (JICA) 受託事業として実施している JICA 集団研修「廃棄物管理技術<基本、技術編>」で、平成 30 年 9 月 10 月～9 月 12 日の 3 日間、JICA 東京において、日本工営(株)、国際航業(株)、八千代エンジニアリング(株)、(株)エックス都市研究所及びパシフィックコンサルタンツ(株)の 5 正会員会社の職員が講師として講義を行った。

日付	研修内容	講師氏名	所属
9月10日	マスタープランの必要性と策定の手順	細野智之	日本工営(株)
9月11日	マスタープラン策定のための調査	小槻倫子	国際航業(株)
9月11日	マスタープランの実行(収集運搬)	濱田善之助	八千代エンジニアリング(株)
9月12日	マスタープランの実行(3R促進)	杉本 聡	(株)エックス都市研究所
9月12日	マスタープランの実行(最終処分)	鶴見悠史	パシフィック コンサルタンツ(株)
9月12日	マスタープランの実行 (災害廃棄物視点による最終処分)	小林裕典	パシフィック コンサルタンツ(株)

(3) 関係団体、関係省庁との連携

環境省及び環境省との連携チャンネル窓口である(公財)廃棄物 3R 研究財団から、国際関係情報を入手するとともに、(一財)日本環境衛生センターや(一社)廃棄物資源循環学会が関与している国際会議等に係る情報を収集し、それらの情報を正会員各社に提供した。また、国土交通省が主導する日露都市環境協議会の会合(平成 30 年 5 月 18 日)に参加した。

(4) 海外案件に関する受注高調査

国内受注高調査に合わせて、正会員各社を対象にして平成 29 年度の海外案件に関する受注高調査を平成 30 年 3 月に実施し、その集計結果を会報「廃コン協」第 80 号(平成 30 年 7 月発行)に掲載した。また、平成 30 年度の海外案件に関する受注貴調査については、平成 31 年 3 月 1 日付けで正会員各社に調査票を送付した。

7. 協会運営等に係る事業

(1) 正会員会社とのコミュニケーション活動

正会員会社とのコミュニケーションの増進を図るため、平成 30 年 7 月に会長等が(株)環境技術研究所、(株)日建技術コンサルタント及び日産技術コンサルタント(株)の三社を訪問し、意見交換を行った。

(2) 廃棄物コンサルタント業務の発展・改善に関する活動（受注高調査）

正会員各社を対象に平成 29 年度の国内受注高及び海外受注高についてアンケート調査を行い、その集計結果を、会報「廃コン協」第 80 号（平成 30 年 7 月発行）に掲載した。なお、平成 30 年度受注高調査については、平成 31 年 3 月 1 日付けで正会員各社に調査票を送付した。

(3) 会報その他印刷物の刊行、広報活動

① 会報の発行

平成 30 年度においては、平成 30 年 7 月（第 80 号）及び平成 31 年 1 月（第 81 号）を各 400 部印刷し、会員、47 都道府県、112 市、環境省本省及び地方環境事務所、関係団体等に送付した。

② 会員名簿の発行

平成 30 年 6 月に 2018 年版会員名簿を発行し（印刷部数 1,900 部）、関係機関、全国の地方自治体（47 都道府県、市・23 区 807、組合等 680 の合計約 1,500 か所）及び協会会員等に送付した。

③ リーフレット「協会のご案内」の印刷

平成 30 年 6 月に、協会のリーフレットである「協会のご案内」を発行し（印刷部数 1,900 部）、関係機関に配布した。

④ ホームページの管理

ホームページを随時、情報更新し、協会のイベント等の開催案内を掲載し、協会の活動状況を周知した。

(4) 女性の活躍に資する活動（女性技術者懇談会）

女性技術者懇談会（代表幹事：小梶さやか(株)エイト日本技術開発)、秦 三和子(株)エックス都市研究所)を 3 回開催し、これまでの活動成果をとりまとめ、倫理関連研修会（平成 30 年 10 月 3 日開催）で報告した。これをもって、女性技術者懇談会は発展的解消をして、その活動は、次に記載するダイバーシティ推進委員会に引き継がれることになった。

(5) ダイバーシティ推進委員会

女性技術者懇談会を発展的解消し、企業における多様な人材の活躍を目指した取組み等について情報交換するとともに、企業におけるダイバーシティのあり方を検討することを目的としてダイバーシティ推進委員会（座長 藍 隆行 総務部会委員（応用地質(株)）を設置した。

平成 30 年 9 月 18 日に第 1 回会合を開催し、飯島玲子氏（パシフィックコンサルタンツ(株) D&I 推進室長）に「働き方改革から D&I 経営へ」と題して講演して頂いた。

なお、「D&I」とは、「ダイバーシティ&インクルージョン（Diversity & Inclusion）」の略である。

(6) 倫理の向上等に関する活動

① 倫理関連問題発生時の調査

協会の倫理規定では、協会会員の事業活動において、当協会の倫理規則に抵触するような実態が発生した場合、倫理委員会が必要な調査を行い、検討結果を会長に報告することになっている。

平成30年度には、このような事案はなく、倫理委員会は開催されなかった。

② 倫理関連研修会の開催

開催日 平成30年10月3日 16:00～17:00

場 所 エッサム神田1号館 901室 (プレゼンルーム)

参加者 19名

プログラム

講 演 女性技術者懇談会の活動報告

女性技術者懇談会代表幹事 秦 三和子(株エックス都市研究所)

講 演 企業におけるダイバーシティの在り方について

常任理事 岩下信一 (応用地質株)